

## 北原 直 教授 略歴・主要著作目録

### 北原直教授の略歴

1939年6月3日生（栃木県）  
1967年9月 北海道大学大学院水産学研究科水産化学専攻博士課程単位取得退学  
1967年10月 小樽商科大学商学部助手  
1981年6月 水産学博士（北海道大学）  
1989年4月 札幌学院大学商学部教授  
1999年4月～2001年3月 札幌学院大学商学部長  
1999年4月～2001年3月 札幌学院大学評議員  
2008年3月 札幌学院大学定年退職  
2008年4月 札幌学院大学名誉教授

### 学会活動

日本商品学会（理事，評議員），日本消費者教育学会，日本商業学会  
日本商品学会第57回大会（2006年）実行委員長

### 研究業績

#### I. 著書

水産動物のカロチノイド II. 水産動物のカロチノイド代謝，5. サケ・マス類 日本水産学界編：恒星社厚生閣，東京 1978（共著）

#### II. 学術論文

1. 「水産動物筋肉の酵素化学的研究：5. 軟体類リンゴ酸酵素（malic enzyme）の精製とその性質」『北海道大学水産学部研究彙報』第16巻3号 171-182（1965）
2. 「水産動物筋肉の酵素化学的研究：6. イカ筋肉のリンゴ酸酵素（malic enzyme）に及ぼす各種カルボン酸および阻害剤の効果」『北海道大学水産学部研究彙報』第17巻1号，64-69（1966）
3. 「水産動物筋肉の酵素化学的研究：7. イカ筋肉のリンゴ酸酵素（malic enzyme）の再精製」『北海道大学水産学部研究彙報』第18巻2号 95-101（1967）
4. 「産卵溯上期サケ（*Oncorhynchus Keta*）の体カロチノイド色素に関する生化学的研究 I」『北海道さけ・ますふ化場研究報告』第23号 15-22（1969）
5. 「ニシン熟成卵中のカロチノイドについての予備実験と若干の資源学的考察」『北海道区水産研究所研究報告』第37号 1-9（1971）
6. 「ベーリング海およびカムチャッカ半島周辺海域のスケトウダラ資源の系統群の解明に関する研究 2-(8)卵の栄養と色素（昭和46年度中間報告）」農林水産技術会議共同研究グループ編 56-61（1972）
7. 「ベーリング海およびカムチャッカ半島周辺海域のスケトウダラ資源の系統群の解明に関する研究 2-(8)卵の栄養と色素（昭和47年度中間報告）」農林水産技術会議共同研究グループ編 66-76（1973）
8. 「赤色魚類皮中におけるエステル型アスタキサンチンの結合脂肪酸について」『東海区水産研究所研究報告』第77号 89-95（1974）
9. 「産卵溯上期サケ（*Oncorhynchus Keta*）の体カロチノイド色素に関する生化学的研究 II：産卵溯上期の表皮カロチノイドの挙動」『小樽商科大学人文研究』第48輯 69-84（1974）
10. 「産卵溯上期サケ（*Oncorhynchus Keta*）の体カロチノイド色素に関する生化学的研究 III：産卵溯上期の精

- 巢に於けるアスタキサンチンの酵素的分解作用」『小樽商科大学人文研究』第50輯 81-91 (1975)
11. 「産卵溯上期サケ (*Oncorhynchus Keta*) の体カロチノイド色素に関する生化学的研究 IV: ユウラップ川に遡上するサケの河川内成熟過程におけるカロチノイドの挙動」『小樽商科大学人文研究』第52輯 185-197 (1976)
  12. 「産卵溯上期サケ (*Oncorhynchus Keta*) の体カロチノイド色素に関する生化学的研究 V: ヒメマス (*O. nerka*) の産卵成熟過程におけるカロチノイドの挙動」『北海道さけ・ますふ化場研究報告』第31号 29-36 (1977)
  13. 「サケの流通と商品特性—秋サケを中心として—」『商品研究』37巻1・2号 11-20 (1986)
  14. 「スケトウダラ卵巣の栄養成分と色素」『小樽商科大学人文研究』第75輯 23-43 (1988)
  15. 「水産物の商品特性—ホタテ貝を事例として—」『商品研究』38巻1・2号 (1989)
  16. 「北見ハッカの商品史—北見地方における地場商品の盛衰—」『札幌学院商経論集』第17巻第4号 1-28 (2001)
  17. 「地域調査を学ぶ 第3章事例研究 北海道編 地域と商品」『札幌学院商経論集』第19巻第4号 83-99 (2003)
  18. Behavior of Carotenoids in the Chum Salmon *Oncorhynchus Keta* During Anadromous Migration, *Comp. Biochem. Physiol.* 76B. 97-101 (1983).
  19. Behavior of Carotenoids in the Chum Salmon *Oncorhynchus Keta* During Development, *Bull. Japan Soc. Fish.* Vol.50 (3) 531-536 (1984)
  20. Carotenoids in the Pacific Salmon During the Marine Period, *Comp. Biochem. Physiol.* 78B 859-862 (1984).
  21. Behavior of Carotenoids in the Masuadromous Migration, *Bull. Japan Soc. Sic. Gish.* 51(2) 253-255 (1985).